

やまぐちっ子学力向上だより

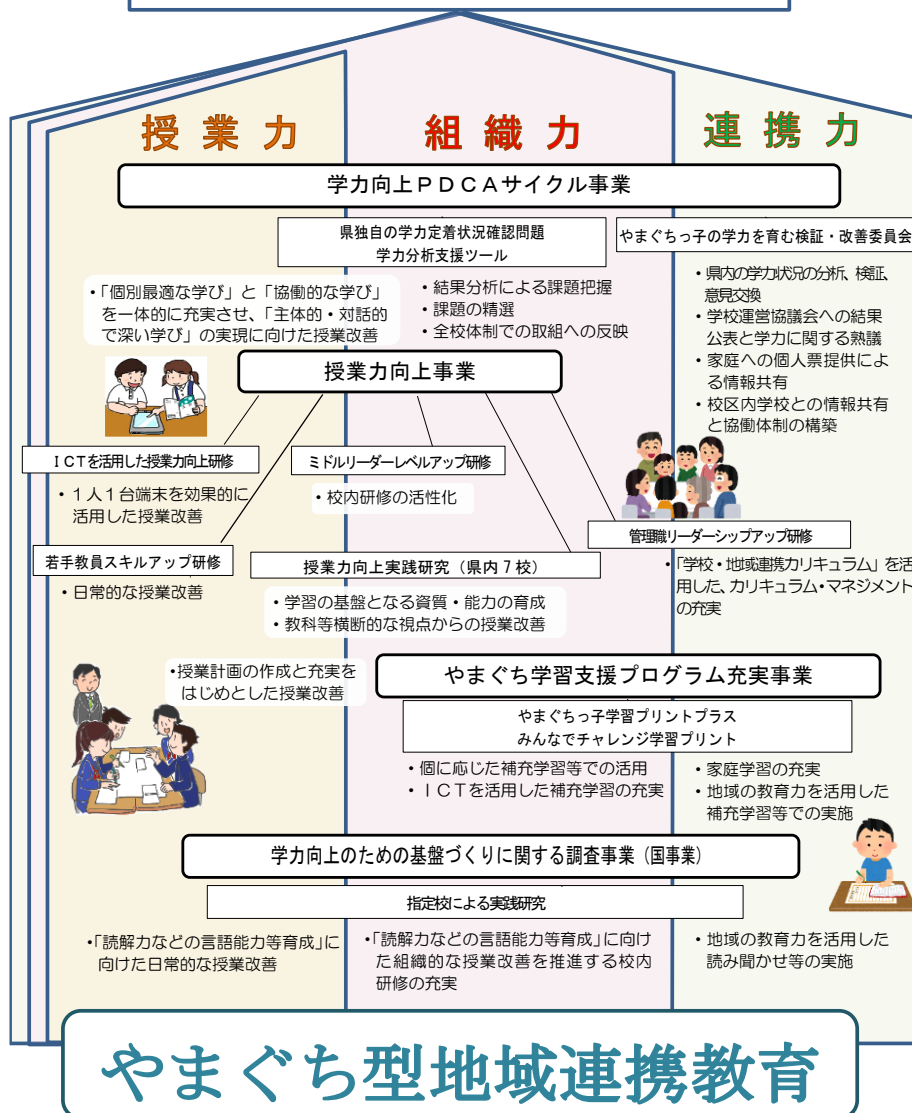
第 119 号 R4.4.8

山口県教育庁義務教育課

学力向上の取組について

山口県教育委員会では、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」からの提言を踏まえ、図1のように「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの視点から、確かな学力の定着と向上をめざします。

【図1】 これからの時代に求められる資質・能力の育成



「やまぐち型地域連携教育」による学校と家庭や地域との連携・協働を基盤として、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を充実させるために、以下の事業を展開します。

- ・課題を焦点化し、全校体制で取り組むための「学力向上PDCAサイクル事業」
- ・それぞれのニーズに応じて研修を深めるための「授業力向上事業」
- ・補充学習、家庭学習の充実をめざした「やまぐち学習支援プログラム充実事業」
- ・指定校による実践研究を行う「学力向上のための基盤づくりに関する調査研究事業」

①学校の組織力の充実

各学校で確立している年間2回の検証改善サイクルを、より一層充実させ、個々の子どもたちの力を伸ばすことが大切です。全国学力・学習状況調査、県学力定着状況確認問題等を活用して、採点、学力分析支援ツールへの入力と結果分析などを組織的にを行い、成果と課題を把握するとともに、校内研修等を充実させていきましょう。

②教員の授業力の向上

義務教育課では、先生方の授業力向上への支援として、授業改善の参考になる資料の提供や各種研修会の開催をしています。これから文書や学校訪問等を通じてお知らせしていきますので、研修会等を通して、先生方の指導力向上につなげるとともに、それぞれのネットワークを活用して学びの輪を広げていくことを期待しています。

③学校・家庭・地域との連携力の強化

家庭、地域とともに「育てたい子どもの姿」を共有しながら、子どもの成長に地域全体で関わることを求められています。そのためにも、県が作成した手引きやリーフレットを基に「学校・地域連携カリキュラム」を効果的に活用することが重要です。コロナ禍においても各学校で工夫した取組を進め「社会に開かれた教育課程」を実現させましょう。

全国学力・学習状況調査に向けて

県教委としては、学力の向上に向けて、義務教育としての水準維持の観点から、一人ひとりの児童生徒について、全国的な状況を踏まえた客観的な学力や学習状況を把握し、指導に生かしていくことが重要であり、そのために学力調査を実施することが必要であると考えています。学校の全ての教育活動の成果として、学校の組織力や先生方の授業力、そして学校・家庭・地域との連携力、さらには子どもの学習定着度と成長具合等を具体的な数値として確認できる機会の一つが、全国学力・学習状況調査です。

今年度の実施日は、4月19日（火）です。実施に向けて、子どもたちが自分の力を十分に発揮できるように、各学校での準備を進めましょう。全国学力・学習状況調査を、これまでの取組の成果を示す指標の一つととらえて、全校体制で取り組みましょう。

また、年度初めのこの時期に、前年度の学習内容を子どもが確実に身に付けているかを確認しておくことも大切です。各学校の取組の中で、やまぐち学習支援プログラムとしてWeb上にアップしている「やまぐちっ子学習プリントプラス」や、昨年度末に各学校にお届けしている「やまぐちっ子学習プリントDASH」を効果的に活用していただけたらと思います。取り組む際には、「何のためにこのプリントに取り組むのか」を、先生方はもちろんのこと、子どもたちとも意味や意図を理解した上で取り組ませ、より確実な定着をめざしましょう。

